

地域の子どもは、地域で育てる「学校サポーターズクラブ」



# まなブン通信

H20.1.20  
発行  
Vol.28

学校サポーターズクラブは、学校・家庭・地域が連携し、地域ぐるみで子どもを育てる環境を整えていくことを目的としている事業です。中学校区ごとに配置されている「コーディネーター」が学校からの希望を受け、地域と学校をつなぎ、学校サポーターの皆さんに活動を行ってまいります。

昨年度からは、市内の全中学校区にコーディネーターを配置。事業のさらなる拡大と、地域の教育力の充実をはかっていきます。

そして、「まなブン通信」では各学校で行われた活動の様子を紹介していきます。

**今回は、1月18日に行われた葉梨西北小での活動の様子を紹介します！**

7人のサポーターさんと14人の子どもたちが、昔のあそびで楽しいひと時を過ごしました。



名人がいっぱい



歌に合わせて、2つや3つのお手玉を上手に操る様子は、大道芸のジャグリングを見ているようでした。

また、あやとり紐を操る指先には、まるで目がついているかのように、紐が絡むことはありません。

お皿の上で、勢いよく回る独楽は、フィギュアスケートのスピンのような様子でした。

「ほら、独楽の紐はこうしてまくんだよ」  
「竹馬は、もっと前に倒してごらん」  
「だるま落としは、ここを叩くよ」  
子どもたちにとっては、発見がいっぱいの貴重な時間になりました。

今回は葉梨地区での様子を紹介させていただきました。みなさんありがとうございました。また次回もお楽しみに！



学校サポーターズクラブ 事務局 生涯学習課 TEL:643-3047